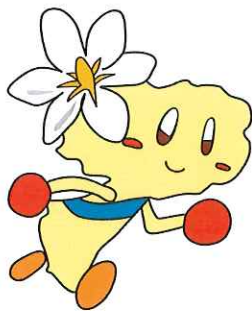


 <p>大府市長 岡村 秀人</p>	<p>愛知県</p> <h1>大府市</h1> <p>みんな輝き 幸せ感じる 健康都市</p>	<p>【データ】</p> <p>人口：91,502人 世帯数：38,154世帯 面積：33.66 km² 市の木：クロガネモチ 市の花：クチナシ 特産物：ブドウ、ナシ、タマネギ、木の山芋</p> <p>[平成 29 年 4 月末現在]</p>
	 <p>市章</p>  <p>健康づくりシンボルマーク</p>	

昭和 45 年の市制施行以来、まちづくりの基本理念は「健康都市」ひとすじ「日本一元気な健康都市おおぶ」の実現を目指します

【健康都市おおぶ】



平成18年に市民公募で選ばれた健康づくりマスコットキャラクター「おおぶちゃん」。平成21年に大府市で開催した第5回健康都市連合日本支部大会で着ぐるみの「おおぶちゃん」がデビューしました。

大府市の特徴 | 大府市は、伊勢湾・三河湾に突き出た知多半島のつけ根に位置し、名古屋市の南東部に隣接しています。市の中央をJR東海道本線が南北に走り、北部に伊勢湾岸自動車道、西部に知多半島道路を有し、交通アクセスに恵まれています。土地区画整理事業による良好な住宅地の形成や交通網を活かした企業立地の推進により、人口も着実に増加しています。また、大倉公園や桃山公園など自然豊かな公園が市民の憩いの場として親しまれており、住環境と産業と自然が調和した都市として発展しています。

健康都市おおぶのあゆみ | 大府市は、第1次総合計画(昭和49年)から「健康都市」の実現を都市目標に掲げ、様々な健康づくり施策を進めてきました。昭和 62 年には、市民総ぐるみで健康増進を図るため、「健康づくり都市宣言」を行い、平成 18 年には、WHO の提唱する健康都市連合及び健康都市連合日本支部に加盟しました。現在進めている第5次総合計画(平成 22 年)では、「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」の実現に向けたまちづくりを進めています。また、新健康おおぶ 21 プラン(平成 26 年)に基づき、健康づくりの施策を推進しています。



ウェルネスバレー周辺の遠景。ウェルネスバレーでは、関連機関や中部経済産業局、愛知県などと連携し、様々なモデル事業やイベントなどを行っています。

ウェルネスバレー構想 | 大府市の南部には、国立長寿医療研究センター、あいち健康プラザ、あいち小児保健医療総合センター、げんきの郷など、健康・医療・福祉・介護の専門施設や知多半島の農畜産物直売施設などが集積する「ウェルネスバレー」があります。だれもが幸せを感じられる「幸齢(こうれい)社会」の実現を目指す「ウェルネスバレー構想」を掲げ、関係機関との交流や連携を進め、「超高齢社会」が抱える課題の解決に向けた先駆的な取組を推進し、全国に向けて情報発信しています。

